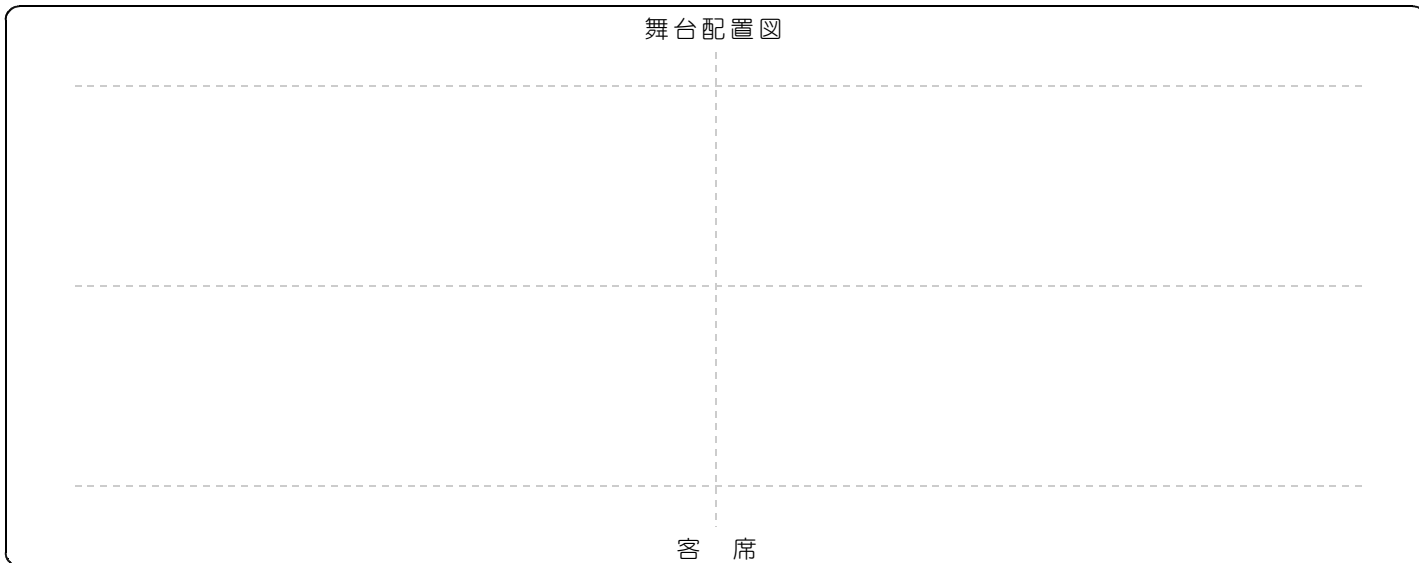


No.	夏色の風景	演奏者数	演奏時間
-----	--------------	------	------

舞台配置図



客席

表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44				編成：1箏				2箏				17絃				
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾				
箏1	D	G	A	C	D	D#	G	A	C	D	D#	G	A	平より四九一音↑ 一は五の乙 (D)			
箏2	D	G	A	C	D	F	G	A	C	D	F	G	A	平より四九六斗一音↑ 一は五の乙 (D)			
17絃	D	D#	F	G	A	A#	C	D	D#	F	G	A	A#	C	D	D#	F
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	1	2	3	4	5	6	7

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1991年 委嘱者 樋熊きみ子 構成 箏 1・11・十七絃 時間 12分 出版楽譜 ミュージックエス
 解説 「みどり」風の中で、木々の緑はいよいよ深さを増し、揺らぎ、躍る、眩い光の中に立ち登る蟬の声は夏への讃歌。「川面」闇の川面に漂う無数の灯りは、遠い日に見た灯籠流し、人間の優しさが瞬く夢幻の時。「花火」人々の憧れにも似た華が夜空を染める、絶間なく煌めく華を浴びて心が躍る。1991年作曲。[作曲者]
 ※ 樋熊さんから25周年記念コンサートの為にと委嘱を受けた時、2年前に樋熊さんからの招待で、長岡の花火大会に遊んだ時のことが私の中で甦りました。そして、その断片を“夏色の風景”として音に綴り、それを今日、一緒に演奏出来るのは、私にとってこの上なく嬉しい出来事です。収録媒体 ー